

法士会報

発行所：法政大学デザイン工学部
都市環境デザイン工学科 同窓会
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33
TEL・FAX (03) 5228 1406
発行人 中村 徹
編集人 会報編集委員会

会長メッセージ

都市環境デザイン工学科同窓会（法士会）会長 中村 徹（1978年卒）



都市環境デザイン工学科同窓会（法士会）会長の1978年卒の中村です。日頃は、同窓会活動にご参加、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

われわれ法士会は、工学部土木工学科同窓会として設立され、諸先輩方のご尽力の下に歴史を

刻んできており、理系の同窓会延いては法政大学全体の同窓会のなかで、もっとも歴史のある同窓会であります。その土木工学科は、現在はデザイン工学部都市環境デザイン工学科に変わって早や13年になり、若手の同窓生にとっては「土木」という名前にだんだん馴染みがなくなってきています。私は、毎年の卒業謝恩会の挨拶の折に、「法士会」や「土木」を連呼しておりますが、卒業生からは入学したときに先生から土木を勉強する学科だと言われてショックだったとの声もきかれる状況です。このような時代背景をふまえなが

ら、以前の法士会のように結束した同窓会を復活させたいとの思いで、昨年より理事のみなさんにご尽力いただき、新しい企画の活動を考えているところです。

まず、今年から女子部の懇親会を発足し、OGどうしの交流をはじめました。まだ、少人数でスタートを切ったところですが、OGの積極的なご参加をお待ちしています。

次に、卒業して社会にでた頃はいろいろと不安や相談相手も少ないことと思われまますので、10年生の会（大学5年プラス卒業後5年）をつくって、若手の卒業生どうしが交流することを企画しています。

現在、この法士会報は理系同窓会費を納付している方だけに送られていますし、コンプライアンスの関係もあって同窓会名簿の更新も儘ならぬ状況があります。そこで、ホームページやSNSの活用、メール連絡網の構築などにも取り組んでおります。

魅力のある、活発な同窓会となりますように、今後とも、同窓生の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

都市環境デザイン工学科 教室からの近況報告

都市環境デザイン工学科 学科主任 教授 藤山 知加子



教室からの近況報告として、入試・教員・施設・就職の状況についてご報告させていただきます。

今年度の新入生は80名（うち女子21名）で、過去数年と比較すると全体の人数はやや少なく、そのうち女子の人数がほぼ1/4という結果でした。大学全体としても志願者数が関東の私大で最多となるなど、昨年度に引き続き好調な状況です。

専任教員に関しては、昨年度末に森教授が退職され、今年度から後任として若手の内田先生が着任されました。また、昨年度は前田助手が定年退職されました。

施設の面では、市ヶ谷田町校舎地下のカフェテリアの営業がなくなり、お弁当販売と食事スペースに変更されています。なお、今年度も学生の就職状況は極めて良好です。大学院への進学率は依然として高くないのですが、大学院生は学会等で受賞するなど活躍していることをご報告いたします。

今後ともOB・OGの皆様からの温かいご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



西谷隆巨先生の叙勲パーティを開催

法士会監事 蛭川 愛志（1984年卒）



2018年1月27日（土）、平成29年「秋の叙勲」にて瑞宝中綬章を受章した西谷隆巨名誉教授の叙勲を祝して、ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京・新宿区）にて叙勲パーティを開催しました。パーティには、先生方をはじめ、西谷研出身の卒業生など計70余名が集まり、西谷先生の叙勲を盛大に祝いました。また、世代を越えた研究室仲間等の親睦も図れて、有意義な会となりました。



「法政土木同窓会女性部会」発足!! ～活性化グループの取り組み～

法士会理事（法政土木同窓会女性部会 幹事兼務） **黒川 信子**（1997年修了）

今年度、活性化グループの取り組みの一つとして、「法政土木同窓会女性部会」を立ちあげました。幹事は、捧、加藤、榎本、平澤、竹石、黒川です。

設立趣旨

設立趣旨は①女性卒業生間のつながりを図る、②「法政土木女子」の知名度向上を目指す、③土木同窓会を広く知っていただき活動に参加していただく。としました。

今年度の活動状況

「女性卒業生間のつながりを図る」ことを目的に、6月1日（金）に第1回女性部会懇親会を、8月31日（金）に第2回懇親会を開催いたしました。出席者は、第1回4人、第2回

7人でした。第1回懇親会では、当面の活動方針について話し合いました。第2回懇親会では、仕事やプライベートの悩み、趣味の話等々、大変盛り上がりしました。また、第3回懇親会を来年4月13日（土）のランチに予定しております。遠方の方や、平日参加が難しい方にも参加していただけるように土曜日のお昼に実施したいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

また、女子部会名簿を充実させたいと思いますので、この会報をご覧くださった土木OGの方、また、社内やお知り合いの方で土木OGのいらっしゃる方は、土木同窓会までご一報いただくと幸いです。



記念すべき第1回懇親会の様子（飯田橋）



第2回懇親会の様子（飯田橋）

九州地区同窓会の開催報告

法士会理事 **三村 卓**（1996年修了）

都市環境デザイン工学科同窓会では、例年、土木学会全国大会が開催される地域において地区同窓会を開催し、卒業生はもとより、教室の先生方、学生との懇親を図っております。2017年度は、9月12日（火）に福岡市博多区にて九州地区同窓会として先生、学生、卒業生の計37名にご参加頂き開催いたしました。

昨今は、大学院生による学会発表者が多く出席するようになり、若さあふれる同窓会になりつつあります。地方同窓会の盛り上げにも一役担っており、今後とも継続してゆきたいと考えています。

お忙しい中、幹事役を勤めていただいた上杉泰右氏（八千代エンジニアリング）には感謝申し上げます。



九州地区同窓会 集合写真

「卒業生と学生との意見交換会」への取り組み

法士会副会長 **加藤 昌宏**（1978年卒）

法士会では、母校の学生が就職等の進路の検討や卒業後のキャリア形成の一助とするため、大学の学科と共催するゼミナールとして、学部3年生と院修士1年生を対象に「卒業生と学生との意見交換会」を実施しています。この意見交換会も早いもので7回目を迎え、今年度は11月17日（土）に開催を予定しています。

会を通じ、学生の皆様には、より専門性を高め技術者としてのキャリア形成に寄与する大学院進学か、実践の中で自らのキャリアを積み重ねる各業界への就職かという大事

な選択の一助になることを願っています。また、各業界で活躍されている卒業生の皆様には、PRの場はもとより、ネットワークづくりに役立てていただければと考えています。

このため、法士会では山田誉理事を中心に理事総動員のもとに学科と連携しながら、この意見交換会が学生と卒業生の皆様には有意義な場として活用できるよう運営に努めています。ぜひ、皆様の積極的な参加をお待ちしていますので、よろしく願いいたします。



まず自己紹介ですが、私は今年の3月で退職された森猛教授（現：デザイン工学研究科 客員教授）が1990年に設立した鋼構造研究室の第6期生であり、法土会では1995

年度卒の学年幹事を努めております。大学院終了後は三井造船株式会社に勤めていましたが、この4月より縁あって鋼構造研究室を引き継ぐこととなりました。研究室は教育技術嘱託の田中氏と今年配属された学部生7名と小規模ですが、疲労試験機が6台あるなど恵まれた環境です。研究内容は森先生同様、溶接継手の疲労や高力ボルト摩擦接合継手に関するものです。今年のテーマは溶接継手の疲労設計に関する内容が2件、疲労き裂補修に関するものが1件、鋼床版の構造改善や設計に関するものが3件、高力ボルト摩擦接合継手の施工性向上に関するもの

が1件であり、疲労試験やFEM解析を実施し、研究を進めています。

研究は順調ですが、現在の悩みは就職が良すぎて大学院に進学する学生がいないことでしょうか。

森先生の28年間の功績には、足元にも及びませんが、私なりに鋼構造研究室を盛り立てていこうと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。



平成30年度の夏合宿

活躍する卒業生①

埼玉県庁 榎本 澄香 (2013年卒)



一昨年くらいまで大学に通っていたような感覚ですが、この原稿を書きながら、卒業し働き始めてから5年以上が経過していると再認識させられ、早すぎる…という気持ちになりました。

平成25年に埼玉県に入庁し、最初の3年間は橋梁の架け替えや耐震工事、歩道整備や交差点改良など道路事業に関わっていました。現在は、防災業務に関わっており、主に水防業務や災害復旧事業を担当しています。最近では、毎年大きな災害が

時期を問わず各地で発生しているため、防災担当としては気が抜けません。被災した自治体の体験談からは学ぶことが多く、その経験を生かすことを意識し業務に取り組んでいます。

埼玉県は63市町村で構成されており、管理する一級河川は151河川あります。調整機関や関係者が非常に多いため混乱する事もありましたが、今は沢山の人の関わり「お互い様」の精神で助け合いながら仕事を進めていく事に楽しさを見出しています。まだ学ぶことが限りなくありますが、公私共にアンテナを高く何事も楽しみながら歩んでいきたいです。

活躍する卒業生②

前田建設工業株式会社 笠井 陽介 (2002年卒)



2002年に卒業し前田建設工業株式会社に入社して17年目になります。現場での施工管理業務を行っています。都市土木工事（鉄道の出入口築造工事、雨水放水路シールド工事、駅の自由通路整備工事等）、特殊工事（射撃場の鉛含有土壌回収工事、江戸城外堀の石垣修復工事等）を経験し、現在、丸ノ内線石積み擁壁耐震補強工事に従事しています。

今まで都市土木等を色々経験してきましたが、現在の工事は歴史ある住宅密集地、美観を保つ条例、施工箇所の擁壁上部には家やマンションがあり騒音・振動対策はいうに及ばず、古木の根っこを痛めないような施工、終電後から始発までの短時間で耐震補強工事を進めなくては行けない等、条件がもりだくさんです。

従来の施工方法だけでは工事を進められず、発注者の理解を得て工法変更、施工機械の改造、新しい測量技術（3D測量）の導入、iPad、SNSを利用したコミュニケーション

強化等、新技術を導入し、工事を進めています。

『モノづくり』に憧れゼネコンに入社しました。今では、『モノづくり』を通じて色々な人たちの実体験や技術を見聞きしながら、関係者と知恵を出し合い、【和】をもって困難を乗り越え、工事を完成させることにやりがいを感じています。また、そのプロセスから生まれる実務を通じた学び、成長→『人づくり』に魅力を感じています。

入社して17年、監理技術者の立場で部下が多くいる状況で仕事をさせてもらっていますので、彼らが思う存分に仕事で力を発揮出来る様、後ろからサポートしていける上司でありたいと強く思います。また実感している『モノづくり』、『人づくり』の魅力に関係者に体験してもらえよう

な職場づくりを心掛けていきたいと思っています。



第25回 社会工学セミナー開催報告

法士会理事 小宮 勲 (1998年卒)

社会工学セミナーは、先生による日頃聞けないようなご専門の研究や、卒業生による現在携わっている業務等のご講演を通して、卒業生や学生などの交流の場として、年に1回開催しております。

今年度は、2018年7月11日(水)に法政大学市ヶ谷田町校舎にて開催し、卒業生29名、学生25名に参加頂き、大盛況のうちに終了いたしました。

大学からは、渡邊竜一専任講師から「風景を創る構造デザイン」という題目で、橋に物語を持たせることによって、プロジェクトに地域住民を巻き込んで、人の生活空間や時代の文化を創造し、記憶に残る構造物を創ってしまうという斬新なプロジェクトの取り組みを含めたお話を聞かせて頂きました。一方、卒業生からは、さいたま市都市局都市計画部長の土屋様から、「選ばれる都市を目指して」という題目で、現在直面している問題点を踏まえ、その都市の有用性を伸ばすことによって選ばれる

都市を創造し、さいたま市の発展の礎を築いていらっしゃることを実感させて頂きました。

■ 講演題目

・「風景を創る構造デザイン」

法政大学デザイン工学部

都市環境デザイン工学科専任講師

渡邊 竜一 先生

・「選ばれる都市を目指して」

さいたま市都市局 都市計画部長

土屋 愛自 氏

(法政大学院工学研究科建設工学専攻
1987年修了)



都市環境デザイン工学科専任講師の
渡邊竜一先生の講演



さいたま市都市局 都市計画部長
土屋愛自氏の講演

講演終了後は、ご講演されたお二人方を交え、先生方や卒業生など約20名も参加頂き、近くのお店で親交を深め、有意義な時間を過ごすことができました。

今後も、法士会としては、この社会工学セミナーが、日頃の学業や業務等に活用されることを願うと共に、ますます、多くの方々に参加頂けることを心より望んでおります。

ホームページのご紹介

法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科同窓会(法士会)は、ホームページ及びFacebookの作成・公開をしております。同窓会や大学との交流等さまざまなイベント情報をアップしておりますので下記アドレス、QRコードより是非ご参加ください。

【HP】 http://civil.ws.hosei.ac.jp/wp/shinro_tokuchou/alumni_association

【Facebook】 <http://ww.facebook.com/groups/332700596887131/>

合わせて【法政大学理系同窓会 HP】もごらんください。

<http://133.25.196.100/joomla3201/index.php>



訃報

法政大学名誉教授 大 嶋 太 市 先生
2017年8月1日 ご逝去 享年93歳

法政大学元教授 松 本 節 也 先生
2018年2月5日 ご逝去 享年86歳

法政大学名誉教授 阿 井 正 博 先生
2018年8月19日 ご逝去 享年68歳

法政大学の教壇に立たれて土木工学の教鞭をとり、ご熱心に学生たちをご指導くださいました先生がたに感謝を申し上げますとともに、ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

法士会理事に就任して2年目、細々と活動させていただいておりますが、理事に就任した恩恵なのか、普段の業務では接点がない方々とお会いする機会も多く、同窓会の楽しさを実感しております。

さて、女性活躍推進ではありませんが、今年度からOG交流会が開催されています。6月と8月に2回ほど、田町校舎(デザイン工学部校舎)ご近所の神楽坂で楽しい時間を過ごしました。今後も定期的に開催する予定です、活躍されている先輩・後輩との交流は、とても貴重な時間です。皆様のご参加お待ちしております！

編集委員 捧 加奈美 (2011年卒)

昨年より法士会の末席に加えていただいておりますが、法士会理事に就任してから明らかに変わった点があります。それは、仕事、プライベート問わず法政大学の卒業生と知り合うことが多くなったことです。

就職してから、周りの方と出身大学のことについて話す機会がなかったのですが、法士会の理事を勤めさせていただいてからは、何かにつけて大学のことを話すことが多くなり、「自分も法政だよ！」と会話が弾むことがあります。

広がったネットワークで大学野球や駅伝等のスポーツ観戦等にいらしたら楽しいだらうな、と思っております。

編集委員 今泉 裕 (2007年卒)